

## 【研究概要】

結腸直腸癌患者の術前に輸血が必要な重度の貧血を呈している割合は約 20%である。術前貧血は周術期合併症や死亡率の上昇、在院日数の増加に関与する。重度の貧血患者に対しては周術期の輸血を行うが、結腸直腸癌患者の周術期の輸血は術後感染症、再手術率の上昇、再発と腫瘍関連死亡率の上昇と関連していることが憂慮されている。術前期間にカルボキシマルトース第二鉄を投与し、周術期の輸血療法を回避することは有効な治療法であると考えられ、今回研究を計画した。